

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映 原案 の 修正 ・	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
1	1	6	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.2 施設の状況	【質問】 今後は管路の経年化が進み、更新していくのが大変であるというのが全国的な傾向とされる中、実務上どのように管路の更新をする場所を決めているのでしょうか。何か基準のようなものがあれば教えてください。	無	【回答】 配水のメインとなる重要な管路や、避難所といった重要な拠点に配水をする管などがある程度優先的に更新していきますが、基本的には古い管から順次更新していくものと考えています。また、水道事業ではアセットマネジメントという計画を策定しており、その中で管路については年間20kmずつ更新をすれば適正に管理できるものと考えています。	事業計画課	原案どおり
2	1	11	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【質問】 11ページ以降で類似団体平均が記載されていますが、これは7ページの中核市48事業者の平均値なのでしょうか。あるいは、ほかに抽出した事業者の平均値でしょうか。	無	【回答】 類似団体とは、総務省の調査において給水形態及び現在給水人口規模により区分されているものです。こちらは、川越市と同じ「末端給水事業かつ現在給水人口が30万人以上」の事業者の平均値です。中核市48事業者の平均値とは異なります。	総務企画課	原案どおり
3	1	4	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.1 事業の概要	【質問】 経営戦略には給水人口が記載されており、水道事業会計予算の資料では給水戸数が記載されていますが、なぜ使い分けるのでしょうか。	無	【回答】 給水人口及び給水戸数は、川越市全体の人口・戸数から地下水を利用している人口・戸数を引いて算出しています。水道事業会計予算の資料で給水戸数の方を記載しているのは、給水給水収益のもととなる給水契約が各家庭を単位としているからです。	総務企画課	原案どおり
4	1	6	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.2 施設の状況	【質問】 アセットマネジメントでは管路を20kmずつ更新していくという話ですが、経営戦略の説明では、更新しなければならぬものはますます増えていくということでした。この20kmという数字についても、これから増えていくものなのでしょうか。	無	【回答】 数字は20kmずつのままです。管路を集中的に整備した時期とそうでない時期がある関係で、更新需要については波があります。それを平準化した中で、毎年度20kmずつ更新をしていけば対応ができると考えています。	事業計画課	原案どおり
5	1	11	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【質問】 経営比較分析表を活用した現状分析とありますが、類似団体の平均値と比較することは何か意味があるのでしょうか。平均値より良ければそれで大丈夫というわけではないですよね。各指標に望ましい数値に向けて事業を進めていくのではないのでしょうか。	無	【回答】 経営比較分析表は、総務省が主導して平成26年度から各事業者が策定・公表しているものですが、望ましい数値というのは具体的には示されていません。しかし、類似団体の平均値と比較することで、ある程度は自らの現状を把握できると考えます。	総務企画課	原案どおり
6	1	17	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【質問】 管路更新率について、川越市の平成30年度の数値が特に低くなっているのはなぜでしょうか。	無	【回答】 平成30年度については、国道や鉄道の横断箇所といった非常に費用のかかる場所の工事を行ったこと、また、配水池といった水道施設の耐震化工事などに力を入れたことにより、その分更新した管路延長が少なくなったからです。	事業計画課	原案どおり
7	1	13	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【質問】 給水原価について、「評価」の所で「費用の約4割を県水購入費が占めていることから、購入単価が見直されると指標値に大きく影響します」と記載されていますが、過去に県水の購入単価が見直されたことはあるのでしょうか。	無	【回答】 県水の購入単価は何回か改定されています。現在、埼玉県は令和2年度まで単価は今のままであります。ただし、埼玉県は令和3年度に運用を開始するハツ場ダムに何百億円も投資をしており、さらに、これから維持管理費も加わっていくため、その分が今後どのようになるのかは分かりません。おそらく今後は上がることになるのではないかと予想しています。	総務企画課	原案どおり
8	1	3	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.1 事業の概要	【質問】 「表2-1」について、一人あたりの給水量を計算しようと、記載されている「計画一日最大給水量」を「計画給水人口」で割ってみたところ、昭和47年が0.42、昭和50年が0.49、昭和55年が0.49、平成4年が0.49、平成28年が0.35となりました。人口が増えているのに給水量が減っているのはなぜでしょうか。	無	【回答】 節水意識の向上や節水機器の普及などにより、水使用量が減少していることが要因です。	総務企画課	原案どおり
9	1	5	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.2 施設の状況	【質問】 「表2-3」について、施設能力が165,500m ³ /日と記載されていますが、3ページの平成4年の計画一日最大給水量を見ると172,000m ³ と記載されています。施設能力より給水量が多くなってしまった場合はどのように対処したのでしょうか。	無	【回答】 172,000m ³ というのは当時の計画量です。平成4年当時は仙波浄水場にもう一つ配水池を作るという拡張計画があったため、計画一日最大給水量は172,000m ³ と設定していました。しかし、その当時から水需要は伸びていなかったため、配水池を作る計画は凍結し、その分機械や電気設備の更新に力を入れてきたという経緯があります。	事業計画課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	原案の修正	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
10	1	7	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.3 経営の状況	【質問】「図2-3」について、川越市の水道料金は中核市で4番目に安価ということですが、何か理由があるのでしょうか。とても良いことだと思いますが、他市と比べて何が違うのでしょうか。	無	【回答】様々な要素が考えられますが、県水単価が安いこと、また、職員の人数がほかの水道事業体平均と比較して約半数であることなどが大きいと考えています。	総務企画課	原案どおり
11	1	1	第1章 策定に当たって 1.経営戦略策定の趣旨	【意見】「昭和39年度の滝ノ下終末処理場の完成をもって」と記載されていますが、この処理場は埼玉県に移管済みであることを記載した方がよいのではないのでしょうか。後ろのページもそう記載をしています。	有	【回答】表現については調整させていただきます。	総務企画課	※表現の見直し (旧) 滝ノ下終末処理場 (修正案) 滝ノ下終末処理場(現 新河岸川上流水循環センター:平成18年4月に川越市から埼玉県に移管)
12	1	-	-	【意見】数字が掲載されている所で「～現在」と記載されているものは、表記が統一されていないので、少し考えなければならぬと思います。	有	【回答】表現については調整させていただきます。	総務企画課	※表現の見直し (修正) 「●●年度末」で表記を統一
13	1	18	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.7 事業の課題	【質問】昨年度策定した上下水道ビジョンでも事業の課題が挙げられていましたが、そちらとの整合性は取れているのでしょうか。	有	【回答】上下水道ビジョンの課題との整合性は取っています。	総務企画課 事業計画課	原案どおり
14	1	11、27	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【意見】レーダーチャートは平成29年度の数字を使っていますが、年度については平成30年度で統一した方がよろしいのではないのでしょうか。平成30年度の数字を用いることができないなら、注釈などを入れておくのが良いと思います。	有	【回答】平成30年度の類似団体平均が示されるのは来年の1、2月頃であり、その数字を用いることが難しいため、レーダーチャートの数字については平成29年度のものを使用させていただきたいと思います。	総務企画課	※指摘事項の追記 水道事業、下水道事業とも本文に、「(本市は平成30年度の各指標値まで示しています。)」を追加。 レーダーチャートの下欄に、「※上図のレーダーチャートは、本市及び類似団体の直近の各指標値である平成29年度により比較しています。」を追加。
15	1	8	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.3 経営の状況	【質問】「図2-4」について、平成21、22年度あたりの給水人口と年間有収水量が極端にかい離していますが、何か特殊な要因があったのでしょうか。	無	【回答】おそらく東日本大震災の影響で人々の節水意識が高まり、水の供給が減少したのではないかと考えられます。	総務企画課	原案どおり
16	1	12	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【意見】経常収支比率や料金回収率などについては、水道料金が低ければ指標が悪く、高ければ指標が良くなるのですよね。川越市としてどういう数値を目指すかによって変わってくるので、単に類似団体と数値を比較するのではなく、川越市としての考え方もイメージしておく必要があります。これは、後に料金改定を行う際のポイントにもなります。	無	【回答】料金改定については、川越市は平成9年から約20年改定をしていないので、その影響は現在の指標にも大きく表れていると考えます。	総務企画課	原案どおり
17	1	18	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.7 事業の課題	【意見】アセットマネジメントでは、現在の水道料金水準では2022年から赤字となる見込みであり、料金水準のあり方について検討する必要があります。経営戦略18ページには「今後は適切な供給単価の検討が課題となります」という記載がありますが、経営戦略は3～5年ごとに見直していくのであれば、それぞれで料金水準を上げていくことについて明記していかなければならないのでは。	無	【回答】第4章以降で検討していきたいと考えています。	総務企画課	原案どおり
18	1	17	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【質問】管路更新率について、「説明」の所に「毎年1%ずつ更新した場合、100年で全ての管路を更新する計算となる」と記載されていますが、川越市の場合は何年で更新できるのでしょうか。	無	【回答】80年で全ての管路を更新することを目指しています。約80年で管が寿命を迎えると想定していますので、80年ごとに更新をしていければ、管が壊れないような状況で運用できると考えています。	事業計画課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映の修正	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
19	1	17	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【質問】年間20kmずつ管路を更新していくと、80年ではほぼ全ての管路の更新が完了するという理解でよろしいでしょうか。	無	【回答】全てが順調にいった場合の数字上の話としては、20kmずつ更新をすれば年間1.25%の更新率となりますので、単純計算をして80年で完了することになります。	事業計画課	原案どおり
20	1	-	-	【質問】急激な人口減少が予測される状況で、行政のほかの計画とも整合性を図りながら、管をどこまでつないでおくのかというのは相当頭を悩ませる部分だと思います。その部分について、ほかの部署と連携を図りながら、今後計画に盛り込むということはあるのでしょうか。	無	【回答】給水というのは各家庭まで水を供給しなければならないため、例えば川越市の端に家が1軒しかないとしても、そこにも供給せざるをえません。自治体によってはそれをやめてしまい、給水車などによる供給を行っているところもあるようですが、川越市は基本的にやめることはできないと思います。では、人口減少に対して川越市はどう対応するかというと、給水量の減少に応じて、水道施設や管路のダウンサイジングを進めるしかないのではないかと考えます。ただし、今後10年間では川越市の人口は極端に減少しないと思われるため、10年間の中長期については、ほぼ現状のまま済むのではないかと考えます。	事業計画課	原案どおり
21	1	-	-	【意見】長いスパンで考えると、川越市の中でもコンパクトシティの考え方をもち、水道事業としてもあまり広範囲な事業運営は難しいということ、盛り込んで情報提供していかなければ、何十年後も今の状況は変わりません。そして、費用負担は、結局利用者にかかってしまうということになります。そういったことを今考えておかないと、何十年も先の人々が困るような状況になってしまいます。	無	【回答】 (意見)	総務企画課 事業計画課	原案どおり
22	1	-	-	【質問】スマートメーターを様々な事業者が採用していると聞いています。このスマートメーター導入の話はどのような状況でしょうか。	有	【回答】スマートメーターについては、給水の状況もリアルタイムで把握できますし、人件費の削減などにもつながるため、川越市としても興味を持っており、現在民間事業者の動向を注視している状況です。	給水サービス課	第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.5 投資・財政計画に未反映の取組や今後検討予定の取組 「新技術の活用」に反映。
23	1	16,17	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【質問】管路更新率は類似団体平均値よりも高いため、川越市が積極的に更新を行っているような印象を受けるが、それでも、管路経年化率や有形固定資産減価償却率はどんどん悪くなっています。川越市は、指標だけ見れば全然足りないということが言えると思いますが、どうお考えでしょうか。	無	【回答】管路の更新需要を平準化し、適正に管理していくには管路を20kmずつ更新していく必要があります。一方で、大きな施設の更新等も進めなければならず、こちらについては管と違って多額の費用がかかります。更新について理想は持っているものの、現実には中々進められていないというのが現状です。	事業計画課	原案どおり
24	1	16,17	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【意見】こういう指標だけ見ると、どうしても矛盾が出てくる。ある指標を見ると川越市の状況は良いように見えるが、一方の指標を見ると意外と進んでいないように見える。ほかの事業体についても、管の更新は意外と進んでいないが、経年化率は川越市ほど悪くないように見えるという。いずれにせよ、どういった投資をしていくかにもよりますが、問題は先送りしてはいけなさと感じます。	無	【回答】管路経年化率について、川越市は高度経済成長期に整備した管路が更新の時期を迎えるため、これから数字はもっと上がってくると思います。管路の更新については精力的に行っていますが、更新需要に追いついていないというのが現状です。	事業計画課	原案どおり
25	1	9	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.4 組織の状況	【質問】「平成25年度から営業業務については外部へ包括委託を実施している」と記載されていますが、平成25年度から実施した包括委託について、総括をお聞かせください。	無	【回答】包括業務委託については、主に料金徴収業務を委託し、民間のノウハウを活用することで、有収率の向上にもつながっていることは良い点であると思っています。総括としては、今まで職員が行っていた業務を包括して民間業者に委託することで、委託費は増加しているものの、その分職員の人件費は減少しており、効率的な事業運営につながっていると考えます。	給水サービス課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	原案の修正・反映	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
26	1	11	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【意見】 11ページ以降に様々な指標が掲載されている中で「安全性に関する指標」というのがありますよね。「安全性」というと、水道事業の場合は水質等の話もありますが、この指標の内容については基本的に経営に関することなので、例えば「経営の安全性」といったように前に何かつけた表現にした方が良いと思いますが、いかがでしょうか。	有	【回答】 表現を調整したいと思います。	総務企画課	※表現の見直し (旧) 安全性 (修正案) 健全性
27	2	20	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業 2.1 事業の概要	【質問】 図2-9で事業計画区域と行政区画が少しずれているという話がありました。川越市の中から石井地区と日高地区を除いて、鶴ヶ島市の一部が入ってくるということなのですが、今回のこの経営戦略を考える際には、鶴ヶ島市分については、川越市と同様の施策をそのまま適用するため特別意識する必要はないし、逆に石井地区と日高地区については事業計画区域に入っていないが、それについても考慮しなくてよいということでしょうか。	無	【回答】 そのとおりです。	総務企画課	原案どおり
28	2	34	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業 2.7 事業の課題	【意見】 収益性、効率性、安全性の比率だけを見るとよさそうに見えるけれど、やらなければならない宿題が沢山あるところをまず掴んで、それに対して収益性がよいのかどうかという捉え方をしないと、審議会の意味がありません。事業の課題については、水道も下水道も、もう一度きちんと把握すべきだと思います。	有	【回答】 施設の老朽化が進んでいますので、そういう部分を踏まえて、今後投資・財政計画を考えていきたいと思っています。次回以降に示す投資・財政計画には、そういったことを盛り込んだ形で皆さんに検討していただきたいと考えております。	総務企画課	※通し番号34と関連。 (修正) 水道事業及び下水道事業の「1.7 事業の課題」を修正。
29	2	25	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業 2.4 組織の状況	【質問】 資本勘定職員が平成21年度の32人から20人に減少したという話がありました。人員がこれだけ急激に減ったことで業務に支障が生じたり、職員に過剰な負担が生じたりしていないのでしょうか。また、時間外労働について、予算には毎年度、前年度と同じ14,125,000円が計上されている状況について、御説明を簡単にいただければと思います。	無	【回答】 資本勘定職員数が減少していることについては、下水道を拡張していく範囲が以前と比べ減ってきていることから、人員が足りているかどうかという問題はありますが、なんとかやっていけるという状況です。また、時間外労働の関係ですが、上下水道局は公営企業のため労働基準法の適用を受けておりますので、残業時間の管理や組合との交渉についても適正に行っております。	総務企画課	原案どおり
30	2	26	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業 2.5 これまでの主な経営健全化の取組	【質問】 26ページの「これまでの主な経営健全化の取組」の中に企業債というものが出てきています。私は、企業債について全く分からないのですが、川越市の場合、どのような企業にどのような形で募集をかけているのですか。もし差支えなければ、企業名を教えてください。	無	【回答】 株式会社であれば株券を発行することによって資金の調達が出来ますが、我々公営企業は株券を発行することが出来ません。したがって、国から借金をして資金を得るような形を取っております。これを企業債と言います。	総務企画課	原案どおり
31	2	-	-	【意見】 いずれ老朽化によって道路が陥没したり、汚水がそのまま流れて地盤汚染につながるとか、様々な影響が想定されます。上下水道局としては、今こういう問題があって、今のままの使用料金でいくと、いずれこのようなことが起こりますよというような注意喚起をもっとしなれないといけないのではないかと気がします。そういったことを念頭に取らねばならないとよいのかなと思いました。	無	【回答】 第2章は現状とこれまでの経過を示して、今後これを踏まえてどうするかというのは、次の投資・財政計画の方で考えていかなければならないと思っています。そのうえでまた皆さんに検討していただければと思います。	総務企画課	原案どおり
32	2	34	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業 2.7 事業の課題	【質問】 34ページの効率性のところに、本市は有収率が70%前後で推移しているとあります。有収率の低下は不明水の混入が原因であると記載されていますが、これまでに対象区域を特定できたことがあるのかどうか、また、対策した実績はあるのか教えてください。	無	【回答】 有収水量と埼玉県で実際に処理した汚水量の差が、エリアごとにある程度分かれますので、その差が大きい場所の調査をして、そこを重点的に対策しています。ただしそれは、本当にピンポイントで行っているものでして、今後は計画的に行えるよう、エリアの絞り込みの作業を行っている最中です。	事業計画課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映 原案 の 修正 ・	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
33	2	34	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業 2.7 事業の課題	【質問】 不明水対策を計画的に進めるといことですが、いつまでにという目標は設定されているのですか。	無	【回答】 下水道は、管を特定するのが非常に難しい状態であり、一気に有収率を上げるのは難しいと思っています。ビジョンの中では、10年後に80%を目指すというような形で考えております。	事業計画課	原案どおり
34	2	-	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業	【意見】 目次には「第2章 事業の現状と課題」とありますが、課題はほとんど把握されていないですね。現状に対して何が問題になっているのか、それぞれ問題はあるはずなのに、課題が書いていないのが1番残念です。「事業の現状と課題」という表題なのだから、全部課題を意識した文章にしなければならないと思います。	有	(意見)	総務企画課	※通し番号28と関連。 (修正) 水道事業及び下水道事業の「1. 7 事業の課題」を修正。
35	2	19	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業 2.1 事業の概要	【質問】 19ページ上から5行目に「未普及対策」と記載がありますが、この未普及対策というのはどのような内容なのかお示しいただきたい。まだ普及していないという現状に対する分析や対応というのは特に記載されないのでしょうか。	無	【回答】 未普及対策は、公共下水道がまだ入っていないエリアへ拡張をしていくような事業です。具体的には、認可区域になっているところの整備を進める事業でして、そこから先はまた別の次元の話になってきてしまうと思います。今後10年間は認可区域の中を整備するという考え方の中で経営戦略は出来ていますが、そこからさらに整備を広げるとか、そういった考えはここには反映されておりません。	事業計画課	
36	2	19	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業 2.1 事業の概要	【質問】 下水道事業の年報などの資料には整備率の推移等が記載されていますが、未整備地域の方からは下水道が早く来ないのかという声が上がってきています。経営戦略の中で、未普及対策についても下水道事業の課題の1つに入ってくるのではと思いましたが、そのようにはならないのでしょうか。	無	【回答】 経営戦略は、実際に行っている事業や行うことが明確である事業を整理して、費用がどの程度かかるか、経営的に問題ないかということ判断しているものなので、あえてここで、どのくらいのエリアを広げますとか、このように拡張していきますとは記載していません。経営するうえでの支出ということで、費用として把握して整理をしていくという形になっています。	事業計画課	
37	2	19	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業 2.1 事業の概要	【意見】 もし可能であれば、整備の状況等を記載していただければと思います。経営戦略原案の4ページには、水道事業の現状ということで普及率99.9%というような記載がありますよね。下水道の整備状況を現状として示すことは可能ではないかと思うのですが。	有	【回答】 普及率等の下水道の現況については、20ページに記載しております。面積の項目を追記するかどうか、検討していきたいと思っています。	総務企画課	※表現の見直し 第2章 事業の現状と課題 2 下水道事業 2. 1 事業の概要の表2-6に 「全体計画面積 6, 363ha」 「現在整備面積 4, 104ha」 「整備率 64. 5%」 の追記
38	2	11,27	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.6 経営比較分析表を活用した現状分析 2.下水道事業 2.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【質問】 11ページの料金回収率と、27ページの経費回収率についてです。それぞれ水道と下水道なので違いはあると思いますが、水道は料金回収率が類似団体の平均値よりも低い一方で、下水道の方は若干よいという状態を、どのように理解すればよいか教えていただければと思います。	無	【回答】 水道の方は、高い水を安く売っているような形、売れば売れば赤字になっていくような形です。下水道の方は、ある程度収益が上がるような形になっておりますので、料金回収率と、経費回収率はだいぶ違っております。	総務企画課	原案どおり
39	2	29	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業 2.6 経営比較分析表を活用した現状分析	【質問】 29ページの業務指標の中の汚水処理原価のところ、評価に「スケールメリットにより流域下水道の処理費用が安価なため」と書いてあります。流域下水道の処理費用が現在安価だとしても、それが変わる可能性について、どのような動向を想定してらっしゃるのかを教えてくださいたいと思います。	無	【回答】 埼玉県荒川右岸の処理場で処理していますので、処理単価が上がればこの部分は悪くなりますし、またそれが使用料に響いてくると思っております。設備投資等様々な要因で処理単価が上がる可能性はありますが、ここ数年ぐらいは変える予定はないということです。	総務企画課	原案どおり
40	2	-	第2章 事業の現状と課題 2.下水道事業	【質問】 合流式と分流式があると思うのですが、大体旧市街地では合流式で、そのほかのところは分流式になっていますよね。管の更新のときに、合流式を分流式に変えるようなお考えはあるのでしょうか。合流式の場合、雨水も汚水も一緒に流ノ下の方で一時的に処理されるということは、分流式の方が費用はかからないのでしょうか。	無	【回答】 道路の中にはガス、水道、場所によっては電話、電気が入ってまして、下水道管を分けて入れられるだけのスペースがないことや、今の下水道管を生かしながらもう1本別の管を入れて交換するような形になることを考えますと、正直に申し上げて厳しいのではないかと、今我々が持っている考え方です。分流式になれば処理費はかかりますが、合流式ですと雨水も汚水と一緒に流れて行きますので、処理費用の対象となります。	事業計画課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映 原案の 修正 ・	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
41	2	-	第3章 将来の事業環境	人口予測や水需要の予測、料金収入の予測ということで、入ってくる方はこれで分かりますが、出ていく方はどのように考えたらよいのでしょうか。また、新たに章が加筆されるのでしょうか。	無	【回答】 投資の関係は、5章以降に投資・財政計画として明記しますので、そちらの方で検討していただくような形になっております。	総務企画課	原案どおり
42	2	37	第3章 将来の事業環境 1.水道事業 1.4 組織の見直し 2.水道事業 2.4 組織の見直し	水道、下水道ともに組織の見直しのところについては同じ表現になっていますが、これは今後、最終的には何か書き加えていく予定があるのでしょうか。また、民間委託の導入について、川越市の上下水道局ではどのように検討しているのか、お示しいただければと思います。	無	【回答】 組織の見直しの関係ですが、今後事業をどのように進めるかによって職員を増やす必要性も出てくると思いますので、投資・財政計画の方で考えたうえで検討していきたいと思っております。それから民間委託の部分ですが、川越市としては、水道事業全体を民間委託するのではなく、窓口業務や料金収入など部分的に包括業務委託を行っています。また、施設の維持管理等についても、可能なものは民間委託していこうということで検討しております。	総務企画課	原案どおり
43	2	36~39	第3章 将来の事業環境	予測のグラフを見ていただくと、水道は人口と料金収入とが同じ比率で減っていく一方で、下水道は人口よりも使用料収入の減り幅が1%くらい大きくなっています。この差はなぜ生じたか教えていただきたいのですが。	無	【回答】 水道の人口は2%減、有収水量と料金収入は2.6%減の予測となっております。下水道の人口は0.7%減、有収水量と使用料収入は1.7%減の予測となっておりますので、人口ではなく、どちらも有収水量と収入が同一の減り幅となっております。また、水道の方はこれ以上増える見込みがありませんが、下水道は現在も拡張しておりますので、使用する方がいづらか増えていくと考えられることから、このような形になっております。	総務企画課	原案どおり
44	2	35	第3章 将来の事業環境 1.水道事業 1.1 給水人口の予測	今グラフにあるのは人口だけですが、企業なども水を使いますよね。そういったものはどのように見ているのでしょうか。会社も水の使用量がだんだん減っていくのではないかと思うので、人口だけで見ると見誤るような気がするのですが。	無	【回答】 口径25mmの一部とそれ以上の口径を事業系と想定しているのですが、過去の統計を取ると、件数は増えていますが、使用量は減っています。事業系は過去の統計を見てはいますが、事業者数は増えているのに使用量は減っているという、どこに着地点を設けるのか難しい状態です。今後検討しまして、次回示すことが出来るようにします。	総務企画課	原案どおり
45	3	46	第4章 経営の基本方針 2. 経営の基本的な方向性	「②耐震化のさらなる推進」の目標について、上段の重要施設配水管耐震化率は現状と比べて2倍くらい、下段の配水管の耐震化率は、1.5倍くらいになっている理由を教えてくださいたいと思います。	無	【回答】 下段の配水管の耐震化率につきましては、今現在20.1%に対して、毎年1.25%ずつ老朽管を更新していくことで、耐震化率を32.6%にするという目標を設定しています。次に重要施設配水管については、今現在15.8%に対して、年間1.42%ずつ重要施設配水管を耐震化していくことで、耐震化率を30.0%にするという目標を設定しています。この数字の高い低いについてはスタート時点で重要施設配水管の方が耐震化率が低くなっているという状況によるものです。	事業計画課	原案どおり
46	3	46	第4章 経営の基本方針 2. 経営の基本的な方向性	重要な範囲として、病院や避難所などは、確かに大事だと思いますが、ほかの地域の時はどうなるのでしょうか。合併前の旧市町村のときの避難所等は配慮はされていないのでしょうか。	無	【回答】 基本的には、水を通せる場所の確保を順番にやっっていくということだと思います。それから、各地区に1箇所は、必ず水が出る場所を作るように、順番に整備し、それが終わった後にそれぞれ次に重要なところを設定するという形で動いていきたいと考えています。	事業計画課	原案どおり
47	3	24	第2章 事業の現状と課題 2 下水道事業 2. 2施設の状況	24ページの図2-10に年度別下水道管布設延長とありますが、年度ごとに下水道管を布設した距離が違うということで、波がありますが、当然その年度によって古いものが多かったり、少なかったりしたりしますし、管が何でできているかにもよって工事費などが違うと思います。これらの工事は、各年度にどこを更新するか、青写真として決まっているものなのでしょうか。	無	【回答】 下水道については、ストックマネジメント計画というものがございまして、その中で管の状況を把握しながら、具合が悪いところを順次直していくという考え方です。その中で重要な管は5年毎に見ていきますし、期間が30年以上たっている物は7年毎または10年毎という形でしっかり点検していきます。点検結果に基づく修繕等をなるべく平準化させるという考え方になりますので、今ストックマネジメント計画で決まっているものは、どの地域をいつどう順番で調査をするのかという状況になります。	事業計画課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映 原案の 修正	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
48	3	24	第2章 事業の現状と課題 2 下水道事業 2. 2施設の状況	【質問】 見直しのスパンは、5年毎で大丈夫なんでしょうか。 聞きたかったのは、端的にどのような基準で交換作業を行うのかということです。基本的には設備が一定の年数が経過した段階で、交換していくのかなという風に思っていました。今回の資料からは基準が分からなかったのでお聞きしました。	無	【回答】 下水道管は全体で1,000km以上あるような状況ですので、重要な管については5年毎に見ていくという、国からの指針で示されている形で考えています。下水につきましては、当然耐用年数を考慮しますが、状態を見た中で、必要に応じて順次やっていきます。これを状態監視保全と言います。水道につきましては、管の状況を見ることができないので、時間経過保全と言いつつ、時間が経過したところで順次行っていく形です。経過年数は、80年を想定してやっていくような形をとっています。	事業計画課	原案どおり
49	3	-	資料1 投資・財政計画(収支計画)	【質問】 資料1の投資・財政計画(収支計画)について、営業費用の中に経費がありますが、その経費の中に、動力費、修繕費、材料費、その他と記載があります。先程説明がありましたが、H30年度の経費の内訳では、34億円のうち29億円が「その他」ということになっています。この「その他」というのは、どういったものがあるのか教えてください。	無	【回答】 「その他」の経費の大部分は、埼玉県から水を買っている受水費になります。金額は約20億円になります。	総務企画課	原案どおり
50	3	-	資料3 財源の検討案	【意見】 内部留保資金が少なくなってしまうので、どうしたら適正な水準を維持できるかという考え方が示されていますが、ほかにもどれだけ市民に影響があるのかというものも出して審議をするべきじゃないかと思いますがいかがでしょうか。	無	【回答】 料金改定10%した場合、現行料金を踏まえて、一般家庭でどのくらい上がるのか、影響があるのかをお示しできるような資料を次回用意します。 * 第4回審議会にて資料を配布	総務企画課	原案どおり
51	3	54	第5章 1. 水道事業 1. 2財源試算	【質問】 54ページの内部留保資金のところ、災害復旧費として5億円から10億円の幅で取っていますが、その具体的な積上げについて、何か試算みたいな形があるのでしょうか。	有	【回答】 この5億円から10億円という、災害復旧費は、まさに想定できない金額で、今回想定したのは、資料2「財源試算の概要」の2枚目の後ろのページに記載していますが、熊本地震の際の水道の被害をもとにしています。	総務企画課	(修正) 第5章 1. 水道事業 1. 2財源試算 等に追記
52	3	54	第5章 1. 水道事業 1. 2財源試算	熊本の震災の災害復旧費はいくらだったのでしょうか。 管の布設距離は、どうでしょうか。	有	【回答】 次回調べてお示しします。 * 第4回審議会にて資料を配布	総務企画課	(修正) 第5章 1. 水道事業 1. 2財源試算 等に追記
53	3	56	第5章 1. 水道事業 1. 3投資以外の経費の試算	【質問】 県水を買うより、自己水源を使った方が経営的には良くなりますよね。56ページで令和5年以降は動力非が増えないとあるのですが、その辺の考え方とか、自己水源を使っていく方向なのか確認させていただきたいと思えます。	無	【回答】 埼玉県との話の中で基本的には県水90%、自己水原10%ということで、昔から約束をしていたのですが、川越市では、41本の井戸を持っており、災害に備えるという面においても、普段から維持管理していますので、県と話をしまして、少し自己水源の比率を高める方向で今県と調整をしています。	事業計画課	原案どおり
54	3	60	第5章 1. 水道事業 1. 5水道事業に係る投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組	【質問】 水道の民営化の問題では、経営戦略の中にどのように反映されているのでしょうか。	無	【回答】 民営化の問題につきましては、経営戦略原案の60ページに「民間資金・ノウハウ等の活用」ということで、川越市では既に浄水場の運転管理や水道料金徴収などを民間委託していますので、今後も民間委託できるものは積極的にやっけていこうと考えています。コンセッション方式というのは、現在のところ考えておらず、埼玉県と協力して、広域化の取組を優先してやっけていこうと考えています。	総務企画課	原案どおり
55	3	1	第1章 策定に当たって 1. 経営戦略策定の趣旨	【意見】 原案1ページの「経営戦略策定の趣旨」。下から4行目の段落には「を」が3つ入っていて文章として分かりづらいと思い、案を作ってきました。後で確認いただきたいと思えます。	有	【回答】 この文章は、主語も抜けておりますので、意見を踏まえて、検討したいと思います。	総務企画課	(修正) こうした状況を踏まえ、本市では上下水道事業の目指すべき方向性を明らかにし、上下水道局として取組むべき課題に対する施策等を示した「川越市上下水道ビジョン」を平成31年3月に策定しました。 <u>同ビジョンに掲げる施策等をより実効性のあるものにし、計画的に事業を推進していくため、中長期的な経営の基本計画である「川越市上下水道事業経営戦略」(以下「経営戦略」という。)を策定するものです。</u> 下線部のように修正。

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映の修正	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
56	3	-	資料3 財源の検討案	資料3の「財源の検討案」で重要なことは、収入と費用の見積もりを踏まえて、どのような設備投資をしていくのか、内部留保資金は20億円でいいのか25億円なのか。そのあとに借り入れになります。これは、後年度負担になりますので、上下水道局として返済の上限はどのくらいなのか、考えがあればお聞きしたいと思います。	無	【回答】 企業債の残高の上限についてですが、川越市の考え方としては、経営戦略原案の47ページの目標の中で「企業債残高対給水収益比率」が200%以内であればなんとかやっているとかなと思っており、国の基準等がない中で、今後他市の動向などを注視して適切な基準等があれば、途中でシフトせざるを得ない状況かと思っています。	総務企画課	原案どおり
57	3	60	第5章 1. 水道事業 1. 5水道事業に係る投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組	スマートメーターについて慎重に検討していくとの記載がりましたが、少し消極的な気がするので、表現としては直した方がよいと思いますがいかがでしょうか。	有	【回答】 最新の動向を調査させていただいて、前向きな表現の検討をさせていただきたいと思います。	給水サービス課	(修正) スマートメーターとは、水道使用量を測定し電子データとして遠隔地に送信することができるメーターのことで、検針員のメーターの読み取り作業が不要になることによる人件費や業務負担の軽減だけでなく、家庭での節水の促進等が期待されています。政令指定都市等では実証試験が行われており、スマートメーターの有効性が挙げられています。今後、実証実験による調査・研究結果や技術開発によるコストの低下に注視し、導入に向け検討していきます。
58	3	54	第5章 1. 水道事業 1. 2財源試算	次回の資料の議論になっていると思いますが、結局はその内部留保資金の金額で、料金もある程度決まってくるという風な見方ができるのかなと思いますが、内部留保の基準がどうしてこういう風に決まったかというところが改めて確認できないと皆さん納得できていない雰囲気なのかなと思います。そのあたりを事務局の方で考えてもらえたらいいのかなと思います。	有	【意見】 * 第4回審議会にて資料を配布	総務企画課	第5章 1. 水道事業 1. 2財源試算 等に追記
59	3	54	第5章 1. 水道事業 1. 2財源試算	この水道料金に関してくるのは、内部留保資金の確保すべき金額がポイントになってきます。2点目に将来の収入見積、3点目は、設備投資、それで計算して足りない部分を借金でという計算となり、企業債の借入額が決まって来ます。企業債は後年度の負担になるため、それほど残高を増やすわけにはいかない。そうすると料金を上げるか、設備投資を減らすかとなる。この4つのファクターをちゃんと説明していただかないと、料金改定というのは難しいと感じます。	有	【意見】 * 第4回審議会にて資料を配布	総務企画課	(修正) 第5章 投資・財政計画以降を全体的に修正
60	3			例えば、地震や台風などの、自然災害には危険性があります。こんなことが起こる可能性があります。そのために、維持管理や耐震補強がこれだけ重要なので、内部留保資金がこれだけ必要ですということを明らかにすることで対外的に説明しやすくなると思います。	有	【意見】	総務企画課	第5章 1. 水道事業 1. 1投資試算 等に追記
61	3	-	資料3 財源の検討案	今回の財源の検討にしても前提条件として今のアセットマネジメント、ストックマネジメント計画を基にということがあったかと思いますが、そもそもこの計画を考えたときには、財源ありきで考えたのかそれとも、必要性ありきで考えたのか、ウェイトをどこに置いて考えたのか確認をさせてください。	無	【回答】 基本的には必要性に重きを置いています。今の状態をしっかり把握した上で今後どのようにしていくのかというのを検討していく中で財源を見ていくという形になっています。	事業計画課	原案どおり
62	3	-	資料3 財源の検討案	下水道の有収率が、70%台ということですが、有収率100%の時と比較した場合の年間のロスほどのくらいになりますでしょうか。	無	【回答】 100%の場合と比較するとロスは、年間4億2千万円程度だと記憶しています。	事業計画課	原案どおり
63	3	-	資料3 財源の検討案	4億2千万円という金額が毎年ロスとして出ているということですが、どのくらいのスパンでどのように解消していくのかというのを書いてあるのが、アセットマネジメントであったり、ストックマネジメントだということでしょうか。	無	【回答】 上下水道ビジョンの方ではしっかり目標を決めまして、有収率を10年間で80%までもっていきたいという目標となっています。この80%というのは全国平均値になります。有収率を100%にするのは非常に難しいことだと認識しておりまして、10%上げる目標でも本気でやらないと難しいレベルだと考えております。	事業計画課	原案どおり
64	3	56	第5章 1. 水道事業 1. 3投資以外の経費の試算	BCP(業務継続計画)について、「定期的な見直し」という記載がありますが、定期的とはどの程度のスパンをお考えでしょうか。地震で被災した市では、BCPがほぼ役に立たなかったという話があったので、川越市も、すぐに見直すべきところがあるのではないかと考えたのでお伺いします。	無	【回答】 BCPについては、基本的に毎年少しずつ、気が付いた所を直しているというレベルで、大きな見直しについては現在決まっていない状況です。	事業計画課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	原案の修正・反映	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
65	3	-	資料3 財源の検討案	【質問】 例えば水道料金の値上げはするけど、これだけ財源の負担を考えると、逆に下水道使用料は下げるとい調整ができる可能性はありますか。	無	【回答】 資料1の3枚目を見ていただきたいのですが、下水道事業の当年度純利益は、令和5年度や6年度は、約2,700~2,800万円程度しか利益が得られない状況となっています。これで料金値下げをすると原価を割ってしまう形になってしまいますのでちょっと難しいかと思えます。	総務企画課	原案どおり
66	3	60	第5章 1. 水道事業 1.5 水道事業に係る投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組	【質問】 今後の取組の関係で「防災対策の充実」がありますが、特に耐震化の関係は、配水管についてもいえると思いますが、防災拠点や重要施設以外に、一般住宅というか住宅地での耐震化等も含まれるのか、主要施設を優先的に進めていくところに留まるのか、どのようなイメージでしょうか。	無	【回答】 下水道の耐震化については、国道・県道の緊急輸送道路の通行の確保を優先的にやっています。国道16号、254号を重点的にやっております。その後は、県道の緊急輸送道路に指定された場所をやる予定です。その次のステップとしては、災害拠点の所をやっていきたく考えています。今のところそこまでの考え方で、各個人のお宅ということにつきましては、将来的な話になりますが、老朽化更新をしていく中で、耐震性の高い管を使うことにより対応していければと考えております。	事業計画課	原案どおり
67	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 経営戦略原案57ページの「1.4 投資・財政計画の策定」について、「料金改定率を10%として見直した場合」という記載がありますが、このまま経営戦略を策定したとすると、審議会としてこのような形で適当だという判断をしたということですね。	有	【回答】 この部分については、財政収支シミュレーションを行い、企業債の充当額を年間7億円、料金改定率を10%とした場合なら、10年間は経営戦略として問題なく運営していけると考えたことから、このように記載させていただきました。	総務企画課	第5章 投資・財政計画 1. 水道事業 1.2 財源試算 1.4 投資・財政計画に反映
68	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 今回は料金回収率が100%に達していないことから、料金改定をすることによってそれを100%以上にしようという考えだと思いますが、なぜ料金改定率を10%と設定したのか、例えば8%では駄目なのか、といったことについては説明されないのでしょうか。	有	【回答】 資料3に掲載している料金回収率の6年間の平均を御覧いただくと、川越市の平均は100%を下回っておりますが、類似団体の平均は約110%となっております。10%の改定と考えると、料金回収率は類似団体の平均と同程度になるということも踏まえたものになります。	総務企画課	第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.2 財源試算 1.4 投資・財政計画に反映
69	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【意見】 10%の料金値上げというのは、かなり負担が大きい部分があると思えました。10%はどういう根拠で示されたのか、10%であれば均衡するのかなどといった説明を、可能であればされた方がよいと思えます。	有	【回答】 (意見)	総務企画課	第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.2 財源試算 1.4 投資・財政計画に反映
70	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 57ページのシミュレーションの場合、内部留保資金は令和7年度から「確保すべき水準」の25億円を超え、最終年度にはかなり上回っています。こうなると、もう少し抑えられないのか、という素朴な疑問が出てくると思います。「確保すべき水準」を25億円だとしながら、最終年度にはその倍くらいの水準に達してしまっているということについては、どのように説明していくのでしょうか。	無	【回答】 内部留保資金の「確保すべき水準」というのは、最低限度これだけは必要であるという意味合いです。内部留保資金がないと管の更新はできませんし、必要最小限の25億円があれば、1年間ではあるものの、万が一の災害も乗り切れるのではないかとということでそう設定させていただきました。また、改定率10%という数字については、この数字で料金改定を行うということでは必ずしもありません。これは、10%でいけば今後10年間は乗り切れるという現時点でのシミュレーションであり、仮に令和4年度に料金改定を行う場合は、適切な料金算定を行い、その時点で最適な改定率を考えたいと思えます。	総務企画課	原案どおり
71	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 経営戦略という形ではあるが、このとおりにやっていくということではないということでしょうか。	無	経営戦略は5年ごとに見直しを行っていきます。その際に企業債充当額や内部留保資金の状態についても検証をしていきます。また、内部留保資金については、他の団体の経営戦略等も参考にしながら、より適正な金額を検討する必要があると思えます。	総務企画課	原案どおり
72	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 内部留保資金が50億円くらいになることについて、一番悩ましいところは、内部留保といういかにも利益がそのまま残っているような感じがしますが、借金をして膨らんでいる分もあるのですよね。そのため、このかなり積み上がっている金額については、場合によっては返済計画を見直すなどすれば減るのかと思うのですが、その可能性はどうでしょうか。	無	【回答】 5年後の経営戦略見直しの際に、企業債の金額等について見直す可能性はあると考えています。	総務企画課	原案どおり
73	4	8.25	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.3 経営の状況 2.下水道事業 2.3 経営の状況	【質問】 資料を見ると、川越市の現行の料金については分かるのですが、中核市や埼玉県内の市町村と比較すると、どのくらいの位置付けとなるのでしょうか。	無	【回答】 中核市においては、水道料金は8ページのとおりの安い方から4番目であり、下水道使用料は25ページのとおりの安い方から3番目という位置付けです。一方、埼玉県内55団体においては、水道料金は安い方から11番目という位置付けです。申し訳ありませんが、下水道は手持ち資料がありません。	総務企画課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映 原案の 修正・ 無	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
74	4	8	第2章 事業の現状と課題 1.水道事業 1.3 経営の状況	【質問】 今回のシミュレーションのように水道料金の改定率が10%だった場合だと、中核市の中で安い方から4番目、埼玉県内で安い方から11番目という現在の位置付けからどれくらい上がるのでしょうか。	無	【回答】 10%で水道料金の改定を行った場合、中核市においては、8ページの平成30年4月1日現在の水準で安い方から4番目だったのが、安い方から9番目となります。一方、埼玉県内55団体においては、安い方から11番目だったのが、安い方から24番目となります。	総務企画課	原案どおり
75	4	54	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.2 財源試算	【質問】 原案54ページの「②企業債の見直し」について、企業債を「国等」から調達とありますが、国以外にはどのようなところがあるのでしょうか。また、企業債は国等から借りるということですが、利子はどれくらい付くのでしょうか。	無	【回答】 国以外には、例えば、地方公共団体金融機構という全都道府県・市区町村等の出資により設立された機関や、市中の金融機関から借ります。市中の金融機関から借りることについては、現在国が推進しているものであり、関西方面では実際に行っているところもあると聞いています。また、企業債の最近の利率は、一般的なもので0.4%となっています。	総務企画課 財務課	原案どおり
76	4	52	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.2 財源試算	【質問】 52ページ本文の下から3行目の「収入は国庫補助金や企業債等に限定されている」という記載の中に「国庫補助金」とありますが、これはどういうものなのでしょうか。	無	【回答】 国庫補助金は、国から交付されるお金であり、経費に対して1/2などの決められた補助率分の金額が交付されるものです。川越市においては、水道事業では交付金を申請している事業はなく、公共下水道事業では交付金を用いて耐震化等の事業を行っています。	総務企画課 事業計画課	原案どおり
77	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【意見】 災害があったときのために内部留保資金が必要であるというのには分かりますが、やはり市民に負担を求めることであるとも思いました。今すぐに改定をするということではないことを今回確認できたと思いますが、そのときに私自身はなるべく各家庭に影響がないようにしていただきたいと思います。	無	【回答】 内部留保資金もそうですが、先ほどの話で出たように、川越市は料金回収率が100%に達していないという点も課題となっています。これは、要するに赤字を出しながら水道水売っているということですので、やはりその赤字を出しているという現状は改善し、適正な利益が出るような運営をこの10年間でやっていきたいと考えています。	総務企画課	原案どおり
78	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定 資料3 収支均衡シミュレーショ	【質問】 上記の説明について、料金改定をしたら、料金回収率は上がるものという理解でよいでしょうか。	無	【回答】 料金回収率は上がります。先ほど資料3の2ページで御説明したように、10%で改定を行うと、料金回収率は約109%となります。	総務企画課	原案どおり
79	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【意見】 水道料金や下水道使用料というのは、市の色々な料金の値上げとは意味合いが違います。ただ安くしているばかりだと、後の人たちの料金がかかり高くなります。一番考えていただきたいのは、将来の利用者も含めて、誰も得をしないように、かといって損をしないように、という意識です。アセットマネジメントや、ストックマネジメントなどの計画に基づく費用は覚悟していかなければいけないということです。あとは内部留保資金と企業債でどこまで耐えられるかということを決めると、自ずと数字は決まってくるという構造なので、ただ安くすればよいという議論ではないということを理解する必要があります。	無	【回答】 (意見)	総務企画課	原案どおり
80	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【意見】 上下水道事業において必要なお金については、水道や下水道の利用者皆さんで分かち合わないといけない、また、行政は市民自らがやらなければいけないことを代行している、といった考えを持たないと、料金については理解が得られないと思います。	無	【回答】 (意見)	総務企画課	原案どおり
81	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定 資料3 収支均衡シミュレーションについて	【質問】 資料3の収支均衡シミュレーションの図について、これは内部留保資金が積み上がっていくようになっています。ここでは消費指数の動向なども考慮された考え方、シミュレーションということよろしいでしょうか。	無	【回答】 消費指数の動向は考慮せず、現時点の価値で計算を行っています。	総務企画課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	原案の修正・反映	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
82	4	59	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 原案59ページの表は管などの改良に、どれだけ投資をしていくかということだと思いますが、今後10年間の投資額を見込んだ上での計画という理解でよろしいでしょうか。	無	【回答】 資本的支出の建設改良費については、管の改良費なども含んでおり、今後10年間の投資額を含んだ金額となっています。	総務企画課 事業計画課	原案どおり
83	4	59	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 投資額というのは、どのような考えをもとに見込んでいるのでしょうか。	無	【回答】 水道の投資額は、投資といっても新規に水道管を整備していくというわけではなく、既に布設されている管を更新していくための費用などを見込んでいます。更新費用については、布設された管の減価償却費分が内部留保されますので、それを補填している状況です。	総務企画課 事業計画課	原案どおり
84	4	57,59	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 内部留保資金が積み上がっていくということは、必要な事業を抑制していくという状況なのでしょうか。	無	【回答】 内部留保資金については、減価償却や管を更新するサイクルが関係してきます。管の法定耐用年数は40年であり、減価償却はこれに基づいていますが、川越市の計画では、管の状態を見ながら1.25%ずつ更新をしていき、約80年で更新するサイクルを考えています。そうしますと、法定耐用年数経過後の40年は内部留保が積み上がることとなります。	総務企画課 事業計画課	原案どおり
85	4	57	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 先ほど、内部留保資金が10年後にこれだけ積み上がってよいのかという話もありましたが、私もこれを見ただけではかなり積み上がっているように感じます。管の更新を遅らせないよう、更新計画などとの兼ね合いは必要ですが、そこまで料金改定をする必要はないのかという見方もできますが、いかがでしょうか。	無	【回答】 現状を申しますと、管の更新は年間で約1%弱しかできておらず、80年で1サイクルの更新をしていくという計画に対し、100年かかってしまうという状況です。今回お願いしているのは、80年で更新していく計画に対し、80年で更新できるだけのお金をいただきたいということです。川越市は他市と比べても管の老朽化率が若干高めであり、更新が充分とは言えません。大きな災害等に対するリスクがますます高まっているのも現状です。サービスの対価として料金を少し改定させていただくことが可能であれば、80年で更新をしていくという計画は責任をもって実行し、災害等にも強い水道事業を運営していきたいと考えています。また、内部留保資金がかなり積み上がることについては、企業債の借り方なども少し工夫し、内部留保資金が過剰に多くならないようにする必要はあると考えています。	総務企画課 事業計画課	原案どおり
86	4	-	-	【質問】 上記説明の80年で1サイクルという更新計画について、今後の見通しがあれば説明をお聞かせいただけます。	無	【回答】 現状はお金や人の関係で1%弱しか更新できていません。これを、将来的には年間約20億円をかけて1.25%ずつ更新をしていくことを目標とし、近い将来にはアセットマネジメントを軌道にのせていきたいと考えています。	事業計画課	原案どおり
87	4	50	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.1 投資試算	【質問】 上記の説明は、50ページの表5-1にも関係していますよね。	無	【回答】 そのとおりです。管路更新率の目標については、現状の実績として0.98%であるものを、最終年度の10年後には1.25%まで上げていきたいと考えています。	総務企画課 事業計画課	原案どおり
88	4	58	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 58ページの表について、「収益的支出」の「経費」の中に「受水費」というものがありますが、これは県水を購入するための費用のことなのでしょうか。	無	【回答】 そのとおりです。	総務企画課	原案どおり
89	4	58	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 県水の購入単価が上がると水道料金にも影響が出ると思うのですが、何年後に購入単価が見直されるということはないのでしょうか。	無	【回答】 可能性はあります。現在、埼玉県は令和2年度まで単価は今のままであるとしていますが、以前の回でも申し上げたとおり、埼玉県は今後運用を開始するハツ場ダムに多額の投資をしており、さらに、これから維持管理費も加わっていくため、おそらく今後は上がることになるのではないかと予想しています。もし単価が上がった場合は、それに応じて水道料金も上げざるを得ないというように考えています。	総務企画課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	反映 原案の 修正・	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
90	4	58	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 今回のシミュレーションは現時点での県水購入単価で行っているのでしょうか。そうであれば、もし購入単価が改定されたとすると、今回のシミュレーションの金額は変わりますよね。それと、改定の時期はだいたい把握しているのでしょうか。	無	【回答】 購入単価は現時点での価格のため、改定があった場合、金額は変わることになります。また、改定時期は現時点で不明です。	総務企画課	原案どおり
91	4	58	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【意見】 58ページの表について、「営業収益」は増えていく傾向で、当初約60億円だったのが最終年度では約65億円となっていますが、これは本当に増えるのでしょうか。	無	【回答】 令和3年度と令和4年度の料金収入を御覧いただくと、5億円ほど収入が上がっています。これは、令和4年度以降は10%の料金改定を行った場合の料金収入で算定をしていますので、このように増えていく予想となっています。	総務企画課	原案どおり
92	4	57～59、72	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【意見】 第6章の説明でいうと、他の委員も先ほど気にしていた10%という改定率を決めないで、この原案どおりとなってしまうため、経営戦略は単なる事務局のシミュレーションという位置付けになってしまうと懸念しますが、いかがでしょうか。	有	【回答】 水道事業においては、原案50、53ページの投資及び財源の目標や料金改定なども含め、総合的に考えながらPDCAサイクルを実施していきたいと思えます。	総務企画課	第1章 策定に当たって 2 経営戦略の位置付け 第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.4 投資・財政計画 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項 に反映
93	4	57～59、72	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【意見】 文章の中でこの計画を実施していくというように記載しているのだから、料金改定率については事実上決めざるを得ないと思います。10%はシミュレーションですという説明では、どういう基準で実施していくのかというのが見えなくなってしまう。料金改定の部分とこの計画がうまく連動していないように感じます。これは大事なことなので、きちんと諮った方がよいと思います。	有	【回答】 これまで収支にギャップが生じているということは御説明してきましたが、この経営戦略では、ギャップを埋めるシミュレーションの1つとして 10%の改定率を用いて説明をしています。何もなければ、当然収支にギャップが生じたままということになりますので、その部分は経営上の課題であると感じています。この収支ギャップの解消については、料金のあり方や経費の削減といったことも含め、改めてそのギャップを埋めるための御説明を審議会にさせていただく必要があると考えています。改定率については今回の10%で確定ということではありません。	総務企画課	第1章 策定に当たって 2 経営戦略の位置付け 第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.4 投資・財政計画 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項 に反映
94	4	2、57～59、72	第1章 投資・財政計画 2.経営戦略の位置付け 第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【意見】 原案2ページを見ると、経営戦略の位置付けについて記載があり、経営戦略は、「投資試算」と「財源試算」を構成要素として調整した「投資・財政計画」が中心となる、と表現されています。だとすると、この経営戦略の一番肝となる部分は、水道であれば57ページの「1.4 投資・財政計画の策定」の部分になるわけですね。それが、今回はあくまで計画ではなくて単にシミュレーションという説明をされていますから、場合によっては2ページの表現を変更する必要もあるのではないのでしょうか。一番肝である投資・財政計画の部分が、こういう見通しとなりましたというのでは、計画とは違うのだから、別の表現にする必要があるのではないかとことです。ただし、それを単なる見通しというような表現にすると、先ほど副会長がおっしゃった第6章との整合性が取れなくなる可能性もあるため、表現や経営戦略の位置付けの整理をきちんとしておいた方がよいと考えます。	有	【回答】 (意見)	総務企画課	第1章 策定に当たって 2 経営戦略の位置付け 第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.4 投資・財政計画 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項 に反映
95	4	72	第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【質問】 PDCAのサイクルについてお伺いします。毎年進捗管理を行うということは、例えば上下水道局で進捗状況をチェックし、予定通り進んでいけばそれは継続できますし、何かの事情で予定と変わった、もしくは経済環境などの状況が大きく変われば、当然見直しなどもあると思います。その上でどうい対応をとるのか、ということを検討し、5年目にこの審議会や類似の委員会、あるいは上下水道局などでチェックを行うというような考え方でよろしいのでしょうか。	有	【回答】 そのように考えています。	総務企画課	原案どおり
96	4	44,72	第4章 経営の基本方針 1.上下水道ビジョンと経営戦略 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【質問】 経営戦略と関連して個別計画を策定するかとありますが、個別計画はいつ頃作成するのでしょうか。	無	【回答】 個別計画については、水道においてはアセットマネジメント、下水道においてはストックマネジメントといった計画に伴うものです。これらについては、来年度以降に事業を実施していかなければならないため、個別計画は調査結果に応じて順次作っていきたく思います。	事業計画課	原案どおり

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	原案の修正・反映	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
97	4	44,72	第4章 経営の基本方針 1. 上下水道ビジョンと経営戦略 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【質問】 44ページには「事業費の反映」という記載があり、これは経営戦略と個別計画の関連性を示すものであるかと思えます。今回、経営戦略をPDCAサイクルの中で回していくといっても、個別計画との連動があり、それが実際はどのようなところまで実現できているのかなどの内容を検証していくことも、サイクルの中で必要かと考えますが、いかがでしょうか。	無	【回答】 この上位計画に川越市上下水道ビジョンがあり、その中に各事業における5年後、10年後の目標を定めていますので、そこで同じように目標が達成できているか、問題は何かあるのか毎年検証しながら進めていくことになっています。	総務企画課 事業計画課	原案どおり
98	4	44,72	第4章 経営の基本方針 1. 上下水道ビジョンと経営戦略 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【質問】 上記の説明については、今回策定した経営戦略の投資・財政計画とリンクさせて検証できるという理解でよろしいでしょうか。	無	【回答】 そのとおりです。	総務企画課 事業計画課	原案どおり
99	4	57～59, 72	第5章 投資・財政計画 1. 水道事業 1.4 投資・財政計画の策定 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【意見】 料金改定を目指しているということであれば、そのことについて文章を追加しなければいけないと思います。シミュレーションで示した料金改定を実現し、毎年度進捗管理を行うというようにしないと、答申として不完全なものではないでしょうか。これでは、収入の見込みについては公認されないものとなってしまいます。審議会として委員の方々が集まっているということは、この方々の知見を利用した上で、了承されたものにするということですから、この部分を、明確にしないままでは不完全な経営戦略になると思います。もしくは料金改定について、今後どこかで反映し、このように見通すといったような文章の追加が必要ではないでしょうか。この原案では、自動的に改定率10%が了承されたものとなってしまいます。そういうことではいけないと思うのですが、いかがでしょうか。	有	【回答】 今回の投資・財政計画については、資料2の1ページのとおり、策定までの流れの中で収支にギャップが生じた場合、均衡を図る必要があります。今回はその均衡策の1つとして、料金改定を行えば何とか運営していける、逆にこういった仮定をしないと今後は経営が厳しいということで、シミュレーションを示させていただきました。先ほども申し上げたとおり、必ずしも改定率は10%ではなく、料金算定を行ったうえで10%も上げなくてよいのであれば、その数字が例えば8%などと下がりますし、かえって10%より上がることになるという可能性もあります。それらを踏まえつつ、水道事業において料金改定が必要であるということ、計画の中に明記していきたいと考えました。	総務企画課	第1章 策定に当たって 2 経営戦略の位置付け 第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.4 投資・財政計画 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項 に反映
100	4	57～59, 72	第5章 投資・財政計画 1. 水道事業 1.4 投資・財政計画の策定 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【意見】 これはあくまでも例であるというような文章を入れた方がよいと思います。先ほど別の委員がおっしゃったように、冒頭の表現と最後の表現は整合性を図る必要があります。この経営戦略の中には、図表を用いて計画の数値も示されており、それが公表された場合、審議会の委員はそれで納得をしたものと思われるため、私はこだわっているのです。10%はシミュレーションであると説明されていますが、私が申し上げたいのは、文章の書き方によっては、事務局が例として考えていることが、現実では例ではなくなってしまう、ということです。文章で、あくまでもこれは例であり、今後の審議会等で料金改定を検討し、それを反映させるよう事業計画を見直していく、というようなものを入れなければならないと思います。	有	【回答】 本市の考えとしては、今現在10%の料金改定を行わないと経営として成り立たないのではということで今回このような原案とさせていただきます。その部分は御理解いただきたいと思います。	総務企画課	第1章 策定に当たって 2 経営戦略の位置付け 第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.4 投資・財政計画 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項 に反映
101	4	57～59	第5章 投資・財政計画 1. 水道事業 1.4 投資・財政計画の策定	【質問】 上記の説明は、先ほどの説明と違うように感じます。私は10%に納得してないですし、先ほどは10%には決まっていなかったのではという説明だったのでないでしょうか。	有	【回答】 現時点では、10%で料金改定をしないと経営上厳しいのではないかとということで示させていただきました。ただし、先ほども申し上げたように、実際には5年後に経営戦略の見直しを行います。改定率をどのくらいにするのかについては、収支のギャップを見ながら確定したいと思っています。	総務企画課	第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.4 投資・財政計画 に反映
102	4	57～59, 72	第5章 投資・財政計画 1. 水道事業 1.4 投資・財政計画の策定 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【質問】 上記の説明について、シミュレーションでは令和4年から改定することになっているため、5年後の見直しするときでは遅いのではないのでしょうか。	有	【回答】 10%というのはあくまでも例として示させていただいているもので、今のままではお金が足りないという事実を認識していただき、その上で料金改定が必要となれば、改めてこの審議会に諮問することになります。これは、もっと経費を削減する必要があるのかといったことや、企業債の借入額や事業の見直しなど、いくつかのパターンを細かく検証した上で、審議会に諮問することになると思います。今回は、あくまでも現状のままでは収支にギャップが生じているという事実を御確認いただくという意味で、この経営戦略を策定しているということを御理解いただきたいと思っています。	総務企画課	第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.4 投資・財政計画 に反映

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

資料1

通し番号	審議会回	原案頁	表題等	意見、質問等	原案の修正・反映	審議会での対応等	関係課	原案修正方針
103	4	72	第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【意見】 第6章については、今の原案では1ページだけの非常に簡単なものだけになっていますので、説明を追加するなど御検討いただけないでしょうか。また、収支にギャップが生じており、それに対応するためのお金が必要であることについては、これまでの議論で御理解はいただいているかと思っておりますので、この部分についても第6章などに説明を追加するなど御検討いただければと思います。	有	【回答】 検討させていただきます。		第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項に反映
104	4	57～59, 72	第5章 投資・財政計画 1.水道事業 1.4 投資・財政計画の策定 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	【意見】 この原案には肝心なものが抜けています。どこを読んでも、料金改定のことについて記載されていません。シミュレーションと説明されていますが、料金改定を実現させるのであれば、そのことについては必ず触れなければならないので、料金改定を行うことを含んだ経営戦略とし、その計画を実施していくということを明確にしなければならぬということは、しっかり考えてください。	有	【回答】 検討させていただきます。		第1章 策定に当たって 2 経営戦略の位置付け 第5章 投資・財政計画 1 水道事業 1.4 投資・財政計画 第6章 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項に反映